

12月定例会

— 議案審議の状況 —

平成29年第4回定例会は、11月29日から15日間の会期で開かれました。十和田市田中孝奨学生教育支援基金条例の制定を初め、議案30件（議員提出議案2件含む）、報告2件、同意6件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

たなか たかし

十和田市田中孝奨学生教育支援基金条例の制定

田中孝氏からの寄附金5,000万円を財源に、高等学校等での修学に係る経済的な負担の軽減を図るため、十和田市田中孝奨学生教育支援基金を設置し、教育支援金等を給付するためのもの。

(1) 教育支援金等の申請要件 市内の中学3年生で、次に掲げる要件のすべてを満たすもの

- ①本人及びその保護者が市内に住所を有していること ②市内の中学校を卒業した翌年度に高等学校等に進学する予定であること
- ③学業成績及び品行がともに良好であること ④準要保護世帯であって、市町村民税の所得割の額を課税されている世帯に属するものであること

(2) 給付決定人数 毎年度20人以内

(3) 給付額 入学準備金：5万円（入学前の3月に給付） 教育支援金：月額5,000円（3年間）

主な質疑

Q 基金の原資（5,000万円）がなくなった場合はどうするのか。

A 寄附に基づく制度であるため、基金がなくなったときは終了と考えています。

十和田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定

道路法施行令の一部改正による国道に係る占用料の額の改定に準じ、市道の占用料の額を改定するためのもの。

主な質疑

Q 全体的に占用料の額が下がっているが、金額としてはどのくらい下がったのか。

A 平成29年度当初予算からは451,964円の減となります。

平成29年度一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ1億3,466万2,000円を追加し、それぞれの総額は307億1,990万5,000円となる。

歳出の主なものは、総務費としてふるさと納税推進事業に要する経費、寄附による公共施設整備基金、地域振興基金、育英基金、子ども夢チャレンジ基金及び田中孝奨学生教育支援基金への積立金、民生費として松陽小学校仲よし会の開設準備に要する経費、教育費として田中孝奨学生教育支援基金を活用し新たに実施する給付型の奨学金事業に要する経費、(仮称)十和田市屋内グラウンドの建設に向けた基本設計に要する経費、寄附による図書の購入費、災害復旧費として平成29年7月の豪雨による農林災害の復旧に要する経費の追加。

その他可決した主な議案

◇十和田市放課後児童健全育成施設条例の一部を改正する条例の制定

(平成30年4月1日から松陽小学校仲よし会を設置するためのもの)

◇公の施設（仲よし会）の指定管理者の指定

(平成30年4月1日から管理を行わせるためのもの)

- ・高清水小学校仲よし会 ⇒ 学童保育協働会らぽーと
- ・洞内小学校仲よし会 ⇒ 特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの
- ・四和小学校仲よし会 ⇒ 社会福祉法人健佑会

◇定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結

(野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町及び小坂町との間で締結している協定について、圏域内への移住の促進及び結婚活動の支援に関する取り組みを追加するほか、所要の変更をするためのもの)

◇人権擁護委員の候補者の推薦

(平成30年3月31日をもって任期満了となることに伴い、引き続き中野卓^{なかの たかし}氏、今野千恵子^{こんの ちえこ}氏、目時節子^{めとき せつこ}氏及び佐藤寛^{さとう ひろし}氏を推薦するとともに、新たに成田秀男^{なりた ひでお}氏及び宮内由輝^{みやうち ゆきこ}氏を推薦するためのもの)